



## 熊本県の金融経済概観

(2020年3月5日)

### 1. 概況

熊本県内の景気は、一部に弱さがみられるものの、基調としては、緩やかに拡大している。先行きについても、基調としては、緩やかな拡大が続くと予想されるものの、新型コロナウイルス感染症の影響について注視していく必要がある。

最終需要面をみると、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、雇用・所得環境の改善などを背景に、基調としては、堅調に推移している。この間、観光は、弱めの動きとなっている。他方、住宅投資は、弱含んでいる。また、公共投資は、横ばい圏内で推移している。設備投資は、大地震後の復旧需要は減少しているが、再開発案件を中心に高水準を維持している。

生産面をみると、振れを伴いつつも、持ち直している。

雇用・所得面をみると、労働需給は、引き続き逼迫している状況にあるが、このところ幾分弱含んでいる。この間、所得面では、改善基調が続いている。

この間、1月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合、前年比）は+0.4%と、37か月連続で上昇した。

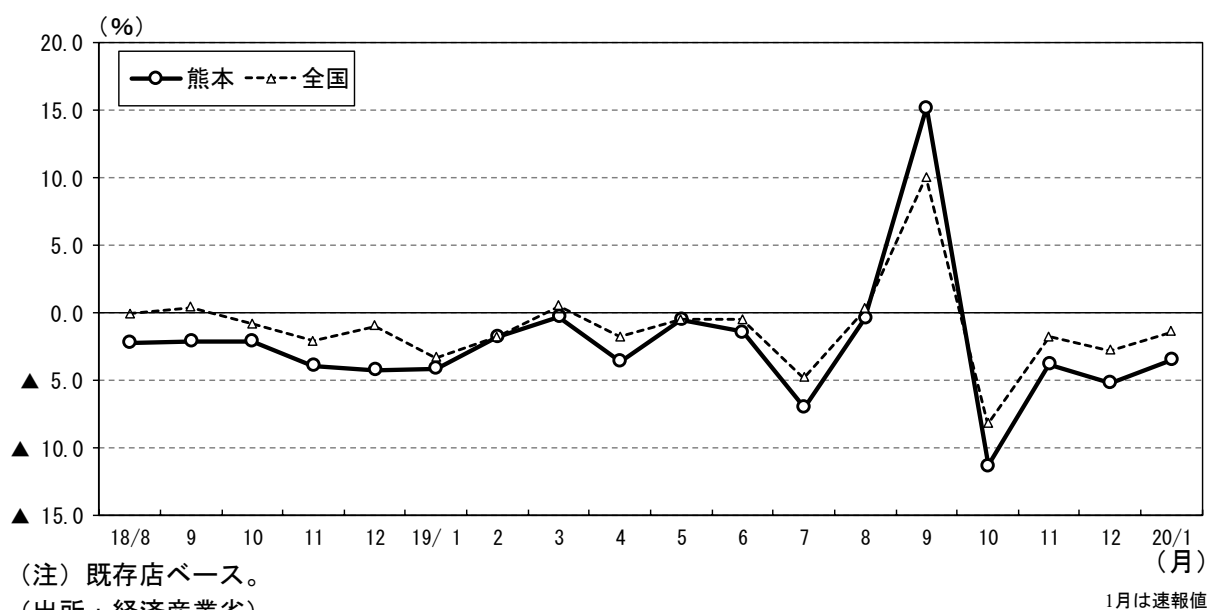
## 2. 個人消費

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、雇用・所得環境の改善などを背景に、基調としては、堅調に推移している。

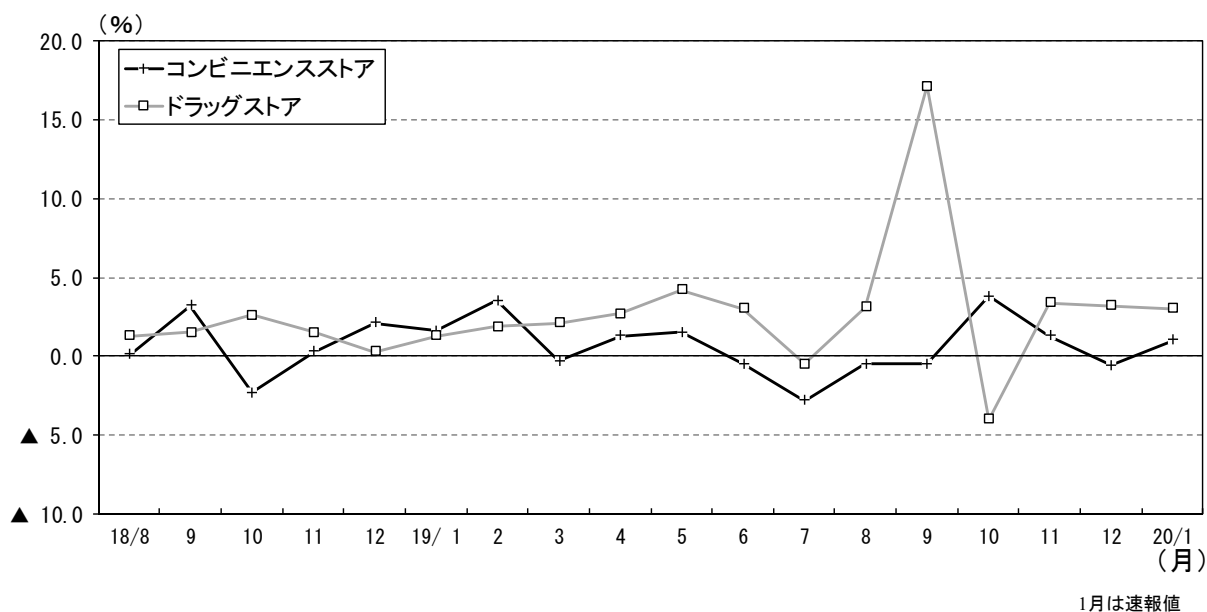
1月の百貨店・スーパー販売額は、消費増税後の反動減や暖冬の影響から、前年を下回った。2月の乗用車の新車登録台数（含む軽）は、消費増税後の反動減から前年を下回った。1月の家電販売額は、暖冬の影響から前年を若干下回った。

観光は、弱めの動きとなっている。

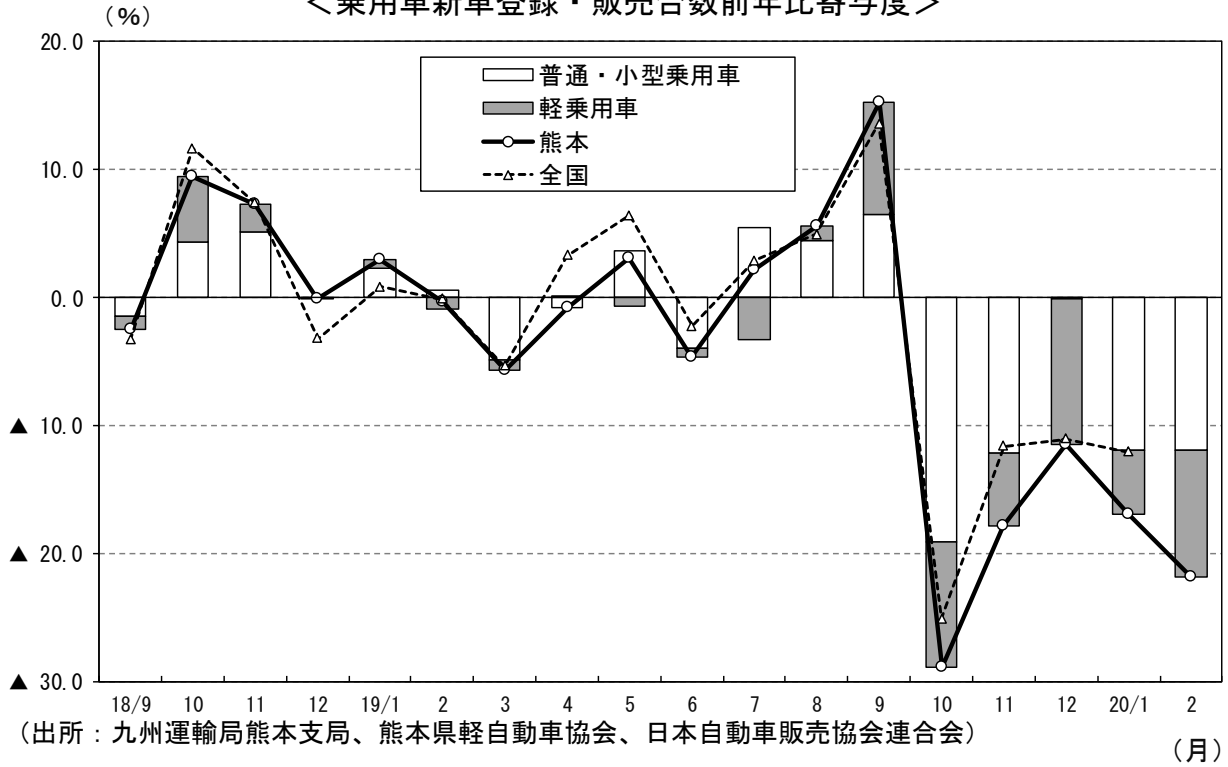
＜百貨店・スーパー販売額前年比＞



(参考) ＜コンビニエンスストア・ドラッグストア販売額（熊本）前年比＞

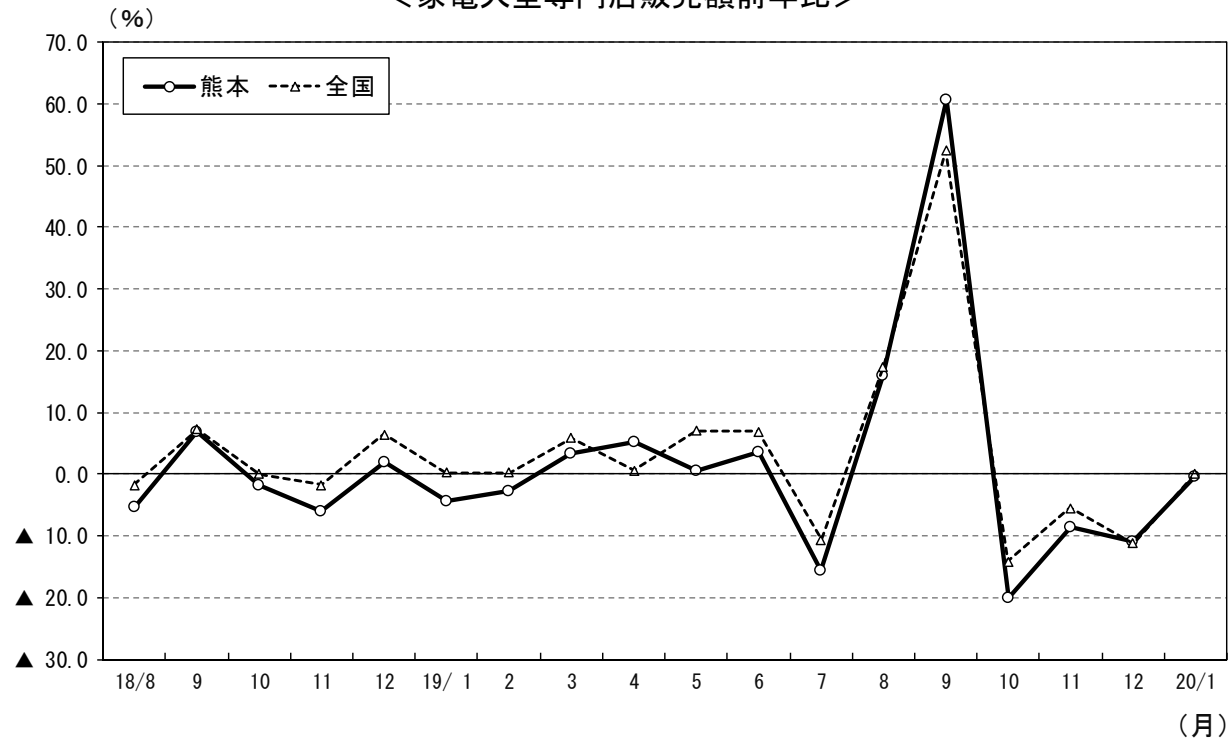


＜乗用車新車登録・販売台数前年比寄与度＞



熊本の直近は2月、全国の直近は1月（熊本の2月は速報値）

＜家電大型専門店販売額前年比＞



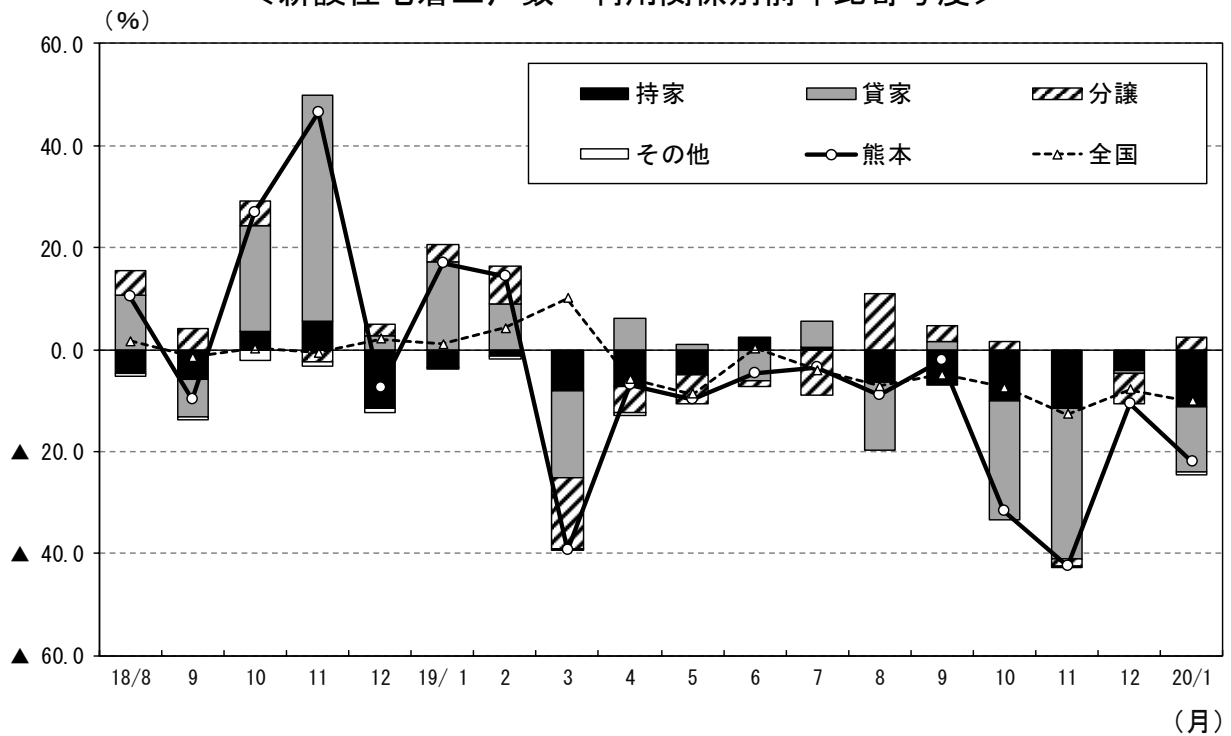
1月は速報値

### 3. 住宅投資

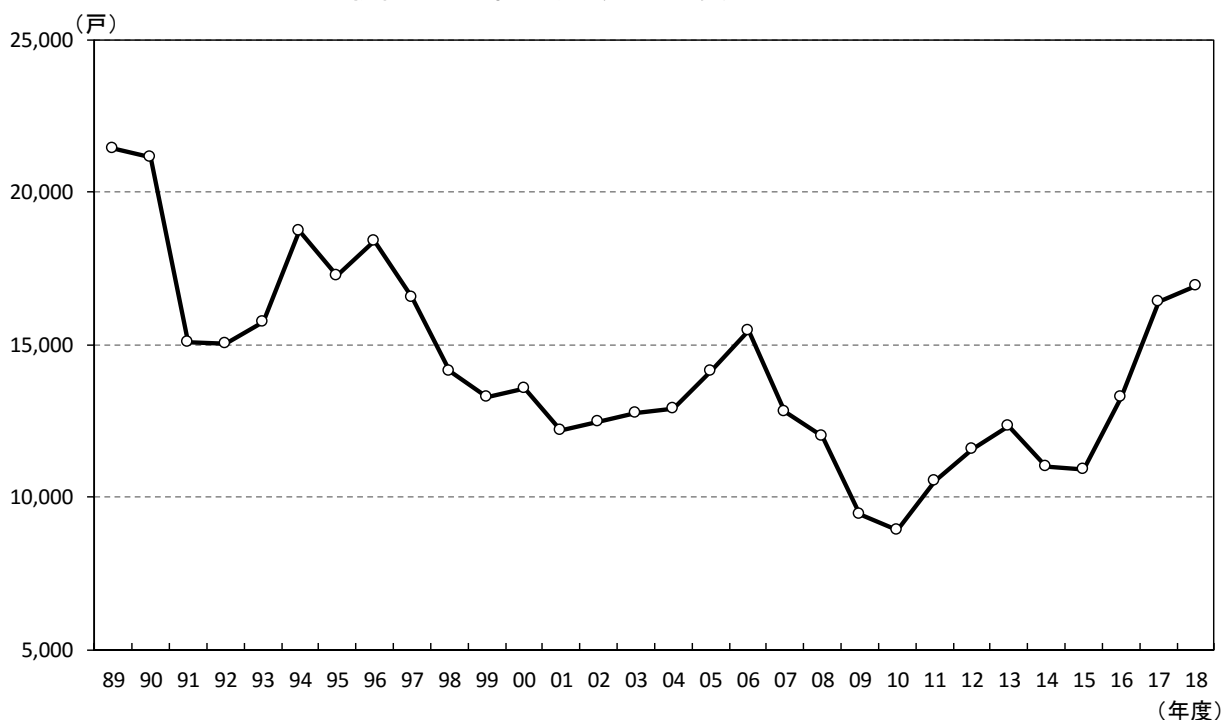
住宅投資は、弱含んでいる。

1月の新設住宅着工戸数は、貸家や持家の減少により、前年を下回った  
 (1月：前年比▲22.1%、19/4-20/1月：同▲15.3%)。

＜新設住宅着工戸数・利用関係別前年比寄与度＞



＜新設住宅着工戸数（年度ベース）＞

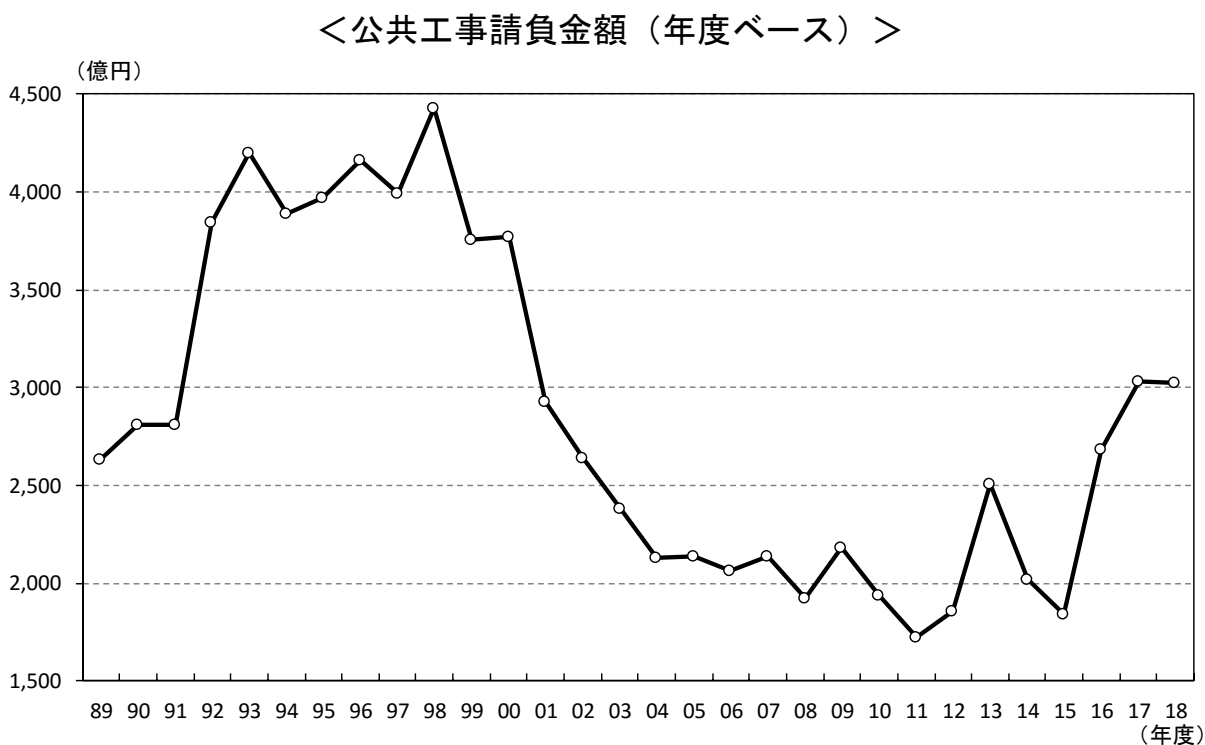
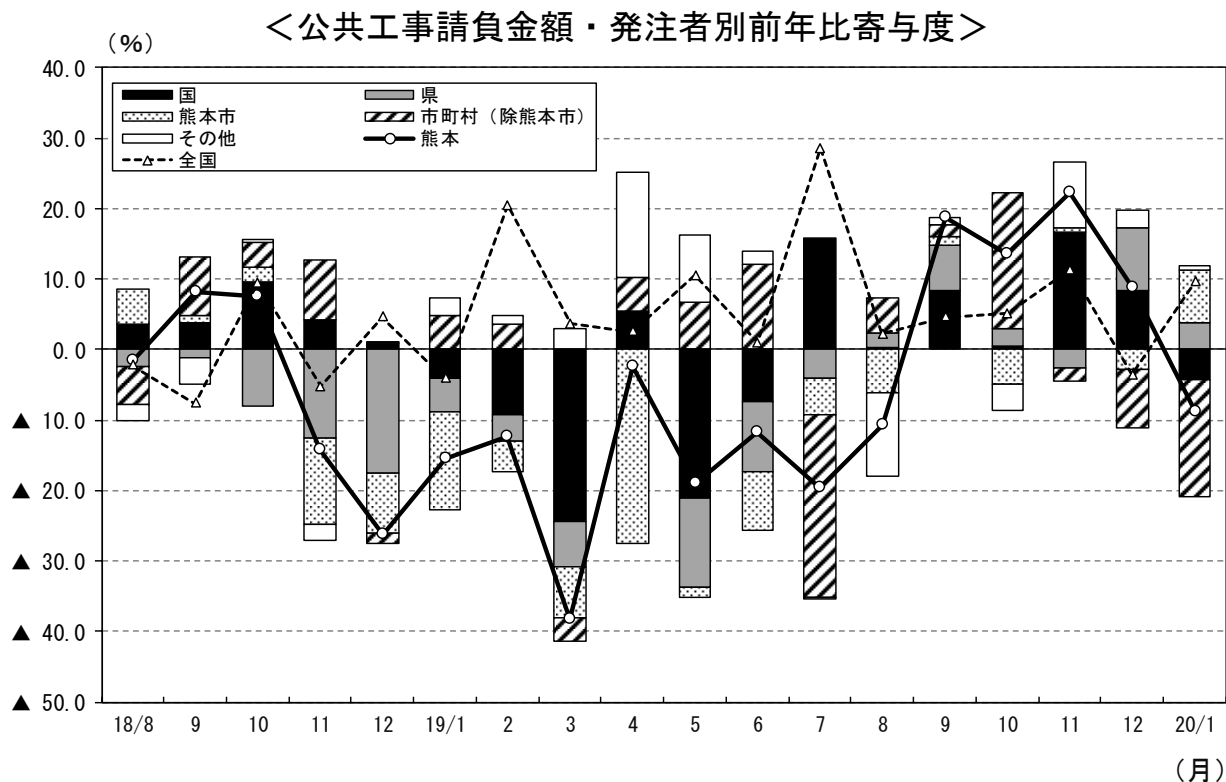


(出所：国土交通省)

#### 4. 公共投資

公共投資は、横ばい圏内で推移している。

1月の公共工事請負金額は、市町村を中心に、前年を下回った（1月：前年比▲8.9%、19/4-20/1月：同▲1.4%）。

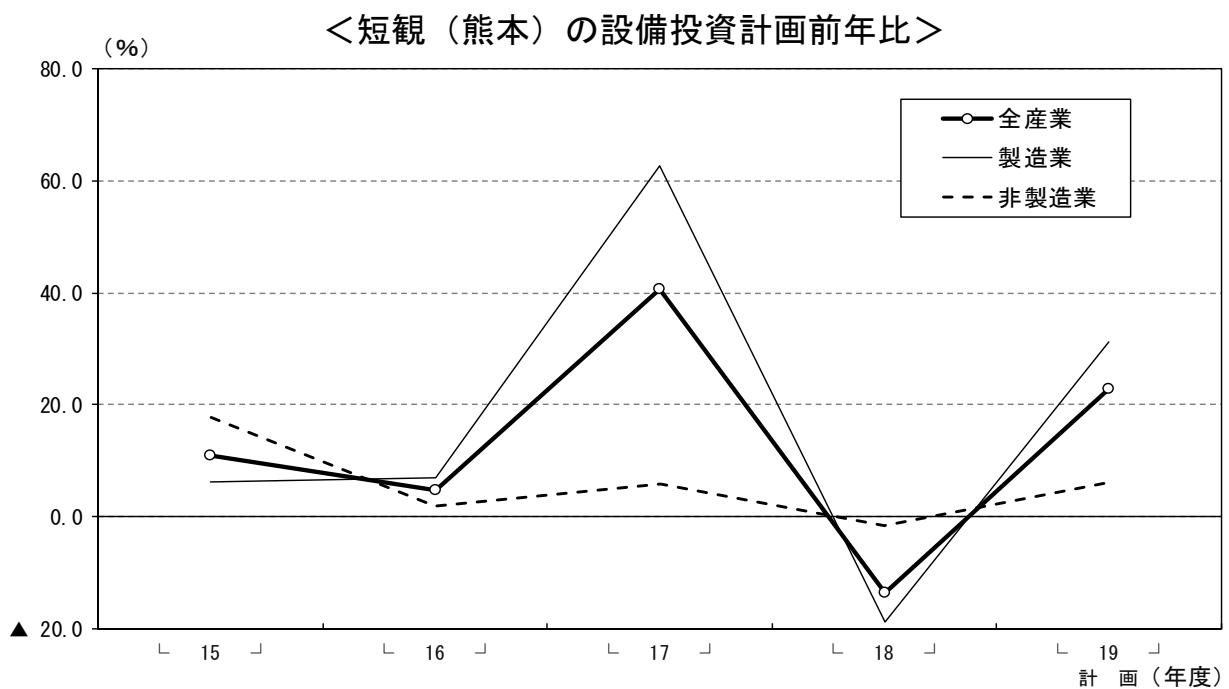
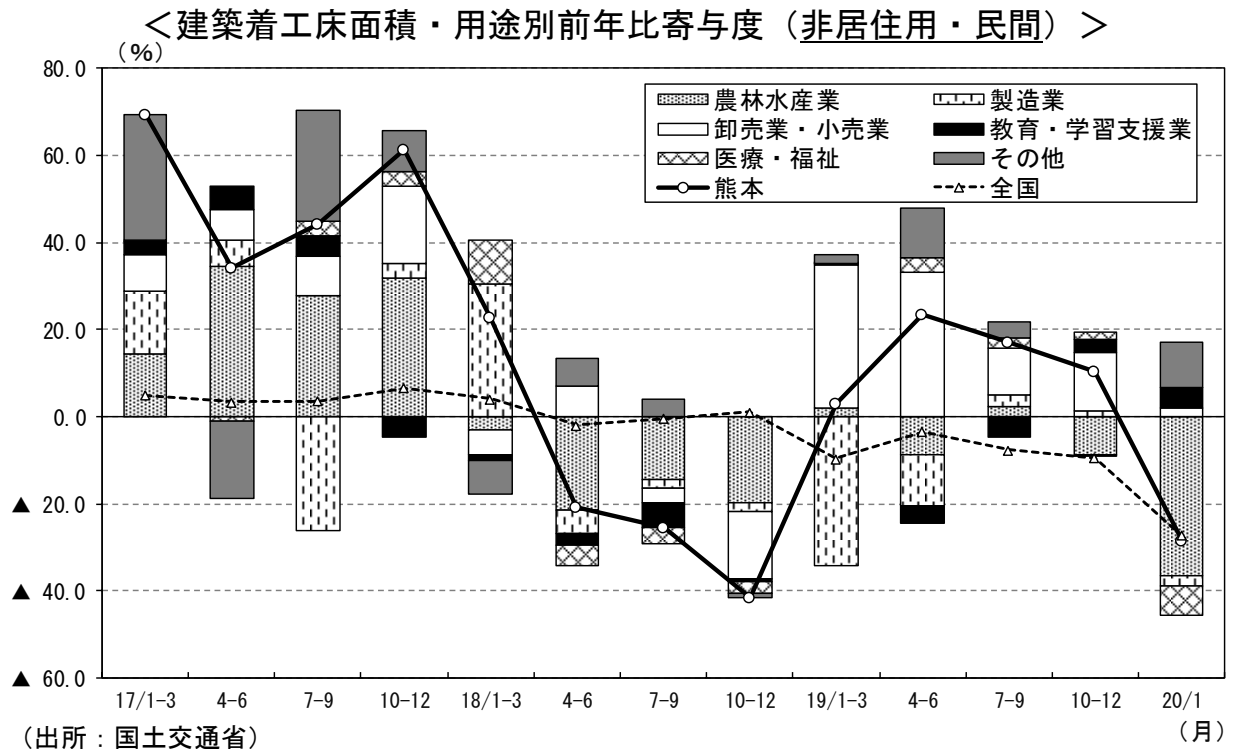


(出所：西日本建設業保証、東日本建設業保証)

## 5. 設備投資（建設投資）

企業の建設投資は、大地震後の復旧需要は減少しているが、再開発案件を中心に高水準を維持している。

1月の建築着工床面積（非居住用・民間）は、農林水産業を中心に、前年を下回った（1月：前年比▲28.4%、19/4-20/1月：同+13.3%）。



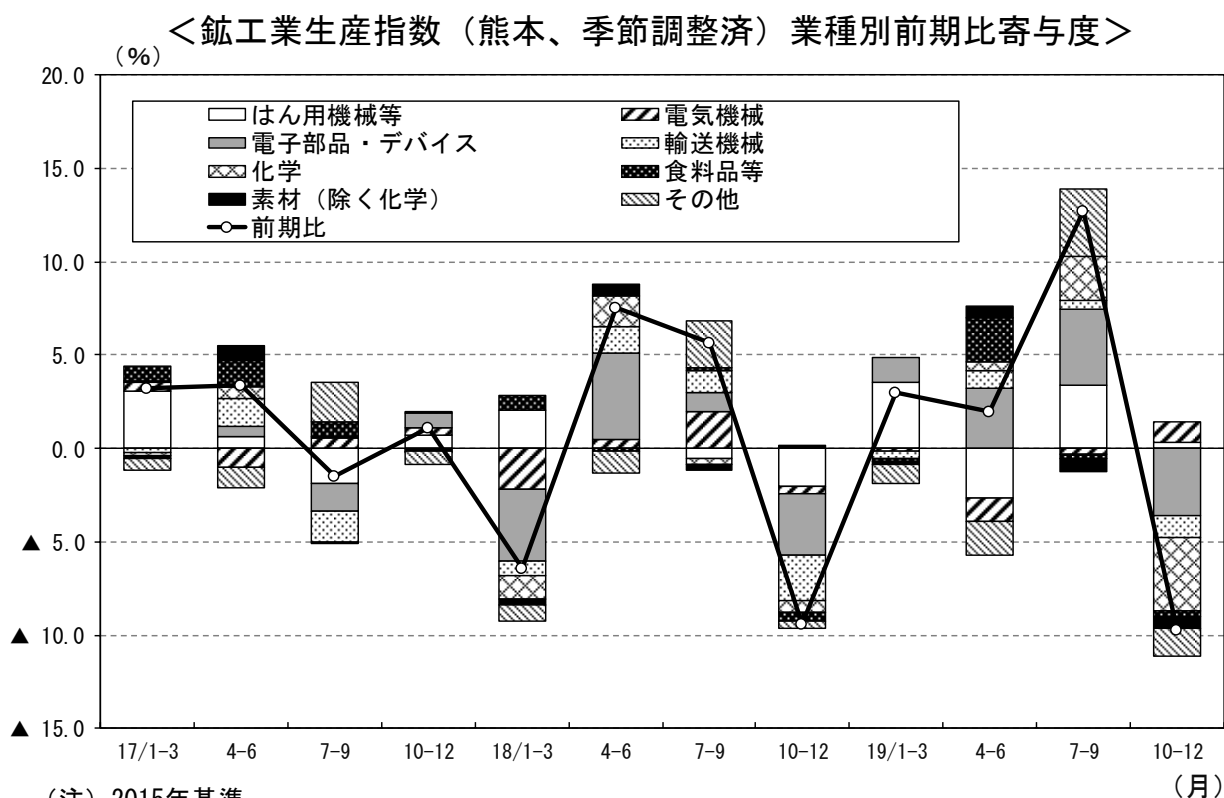
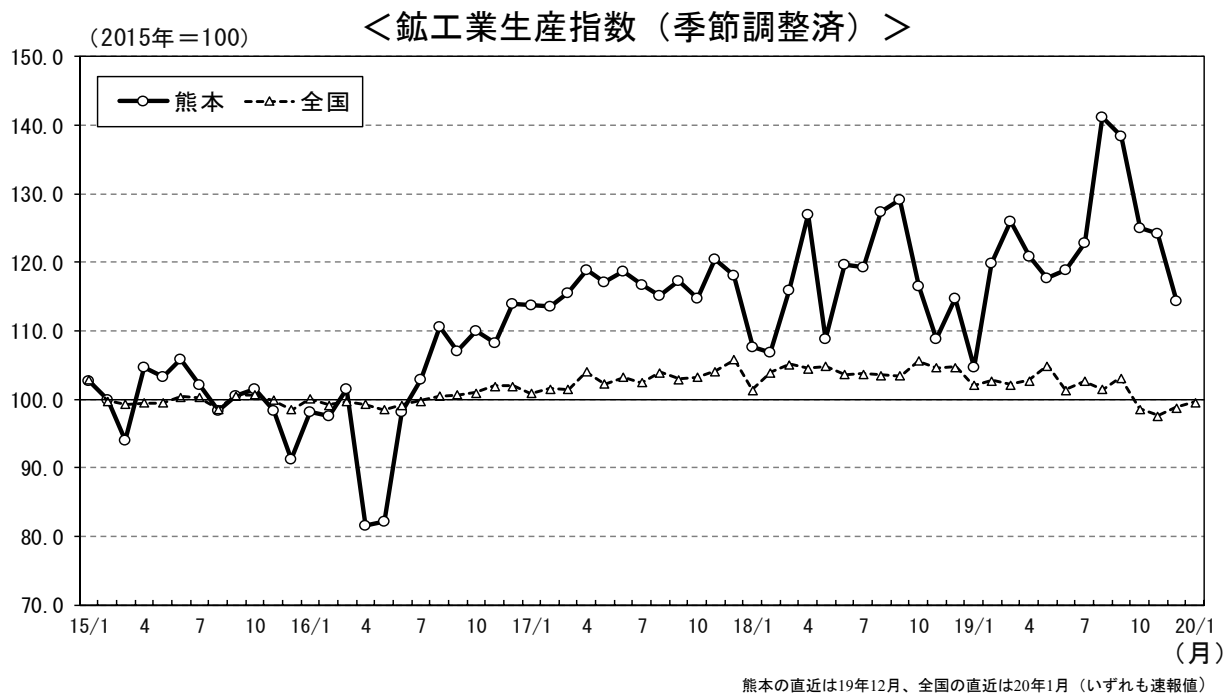
(注) 19年度計画は2019年12月調査時点の計数。

(出所：日本銀行)

## 6. 生産

生産面をみると、振れを伴いつつも、持ち直している。先行きも、振れを伴いつつ推移する見通し。

19年12月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、「はん用機械等」を中心に、前月を下回った（12月：前月比▲8.0%）。



(注) 2015年基準。

(出所：熊本県、経済産業省)

## 7. 雇用・所得

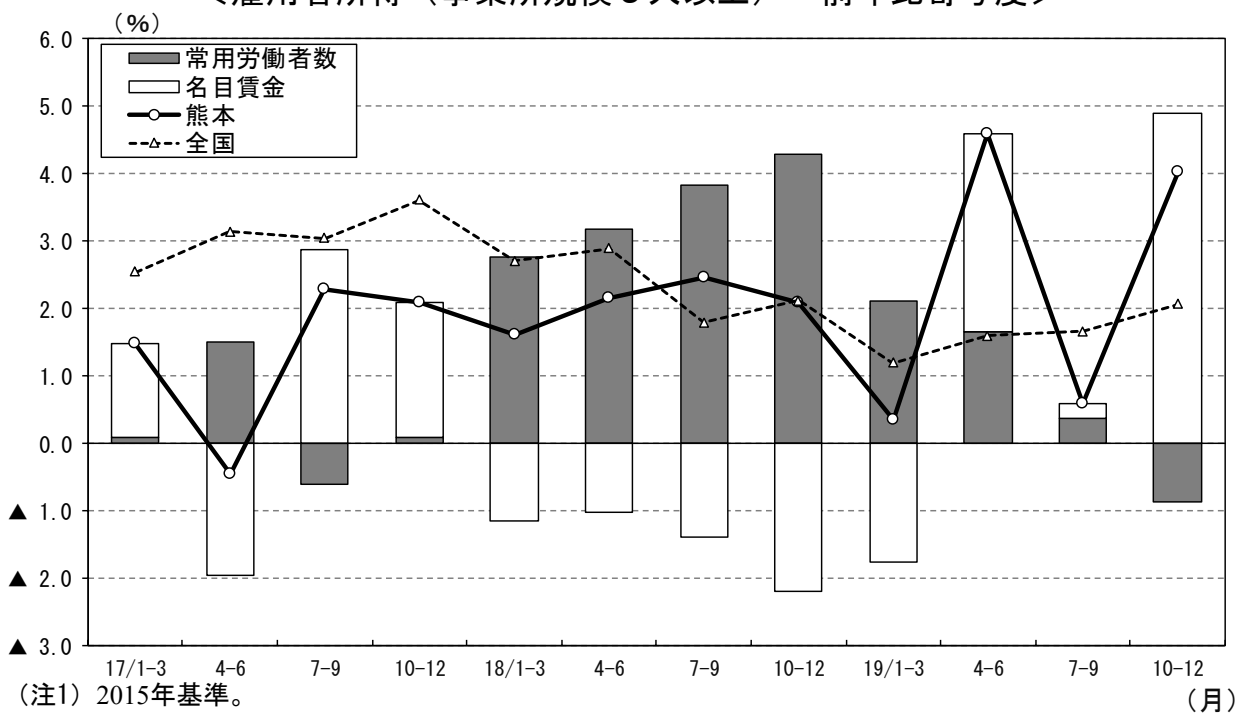
県内の労働需給は、引き続き逼迫している状況にあるが、このところ幾分弱含んでいる。この間、所得面では、改善基調が続いている。

1月の熊本県の有効求人倍率（季節調整済）は、1.52倍と前月から低下した。

＜有効求人倍率（季節調整済）＞



＜雇用者所得（事業所規模5人以上）・前年比寄与度＞





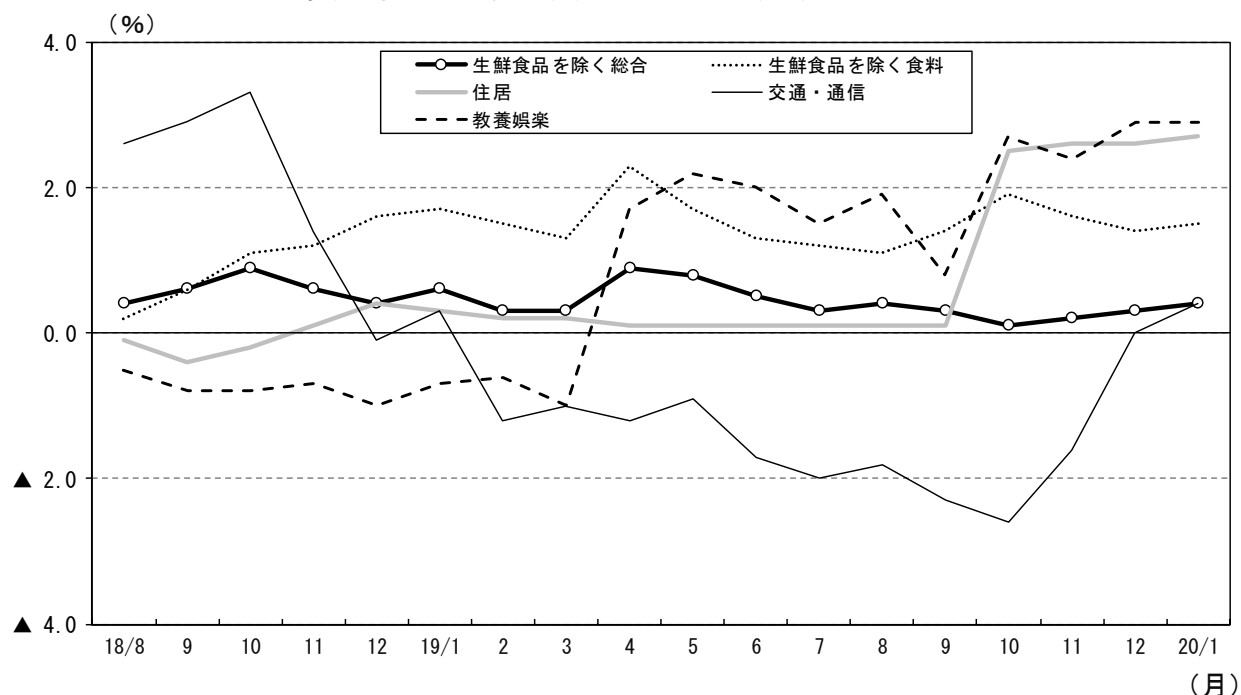
## 8. 消費者物価

1月の消費者物価指数（熊本市、生鮮食品を除く総合、前年比）は、+0.4%と、37か月連続で上昇した。

＜消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）・前年比＞



＜消費者物価指数（熊本市）・主要項目の前年比＞



(注) 2010年12月までは2005年基準、2011年1月～2015年12月は2010年基準、2016年1月以降は2015年基準。

(出所：総務省)

## 9. 預金・貸出金、貸出約定平均金利

1月の預金（実質預金＋譲渡性預金）動向をみると、個人預金を中心に前年を上回った（前年比：熊本県＋1.6%、全国＋2.6%）。

貸出金は、引き続き大きく伸びている（同：熊本県＋4.4%、全国＋2.0%）。内訳をみると、個人向けは、住宅ローンを中心に増加している。法人向けは、設備資金が徐々に増えてきている。

貸出約定平均金利（総合、ストックベース）は、1.051%と既往ボトムを更新した。

＜預金（実質預金＋譲渡性預金）前年比＞



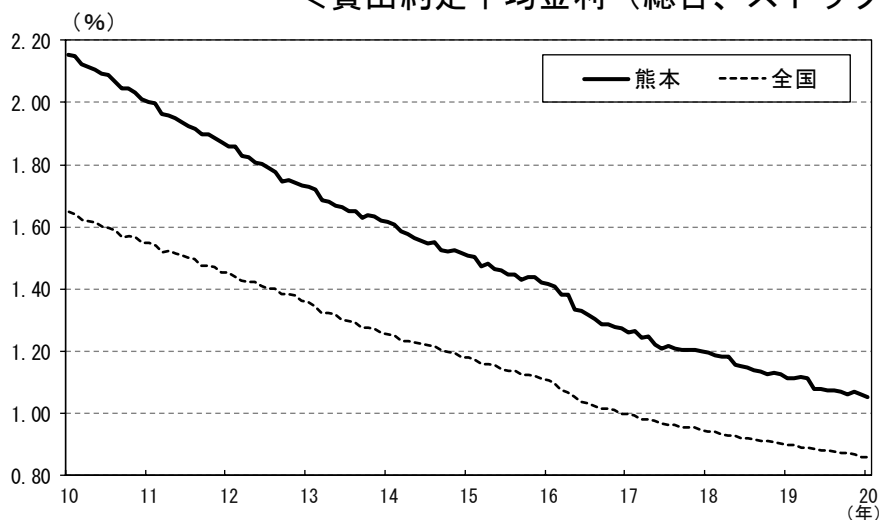
＜貸出金前年比＞



（注1）実質預金＝表面預金－切手手形。

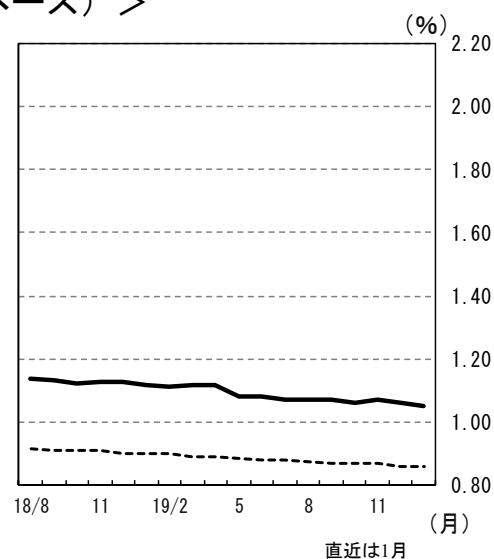
（注2）熊本県は、預金・貸出金ともに銀行（ゆうちょ銀行を含まない）・信用金庫・信用組合の合計で、末残ベース。全国は預金が3業態（都銀・地銀・地銀Ⅱ）計、貸出金が国内銀行計で、いずれも平残ベース。

＜貸出約定平均金利（総合、ストックベース）＞



（注）国内銀行ベース（熊本県は信託銀行を除く）。

（出所：日本銀行）

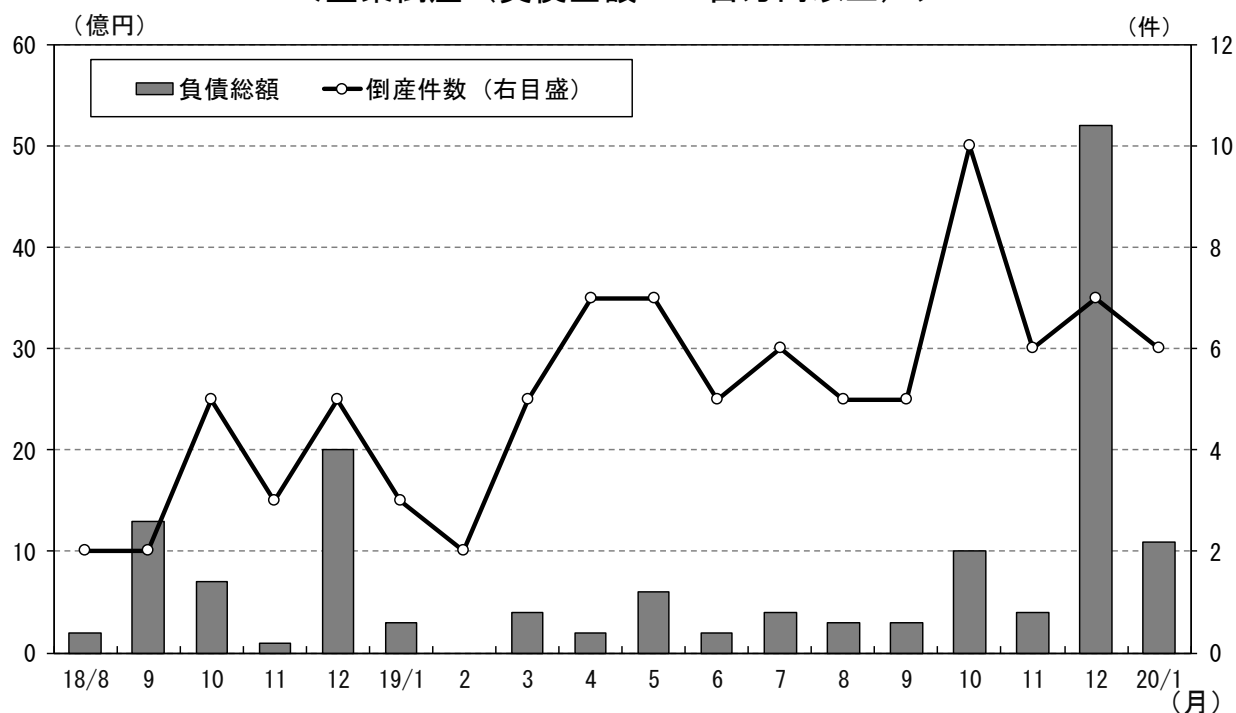


直近は1月

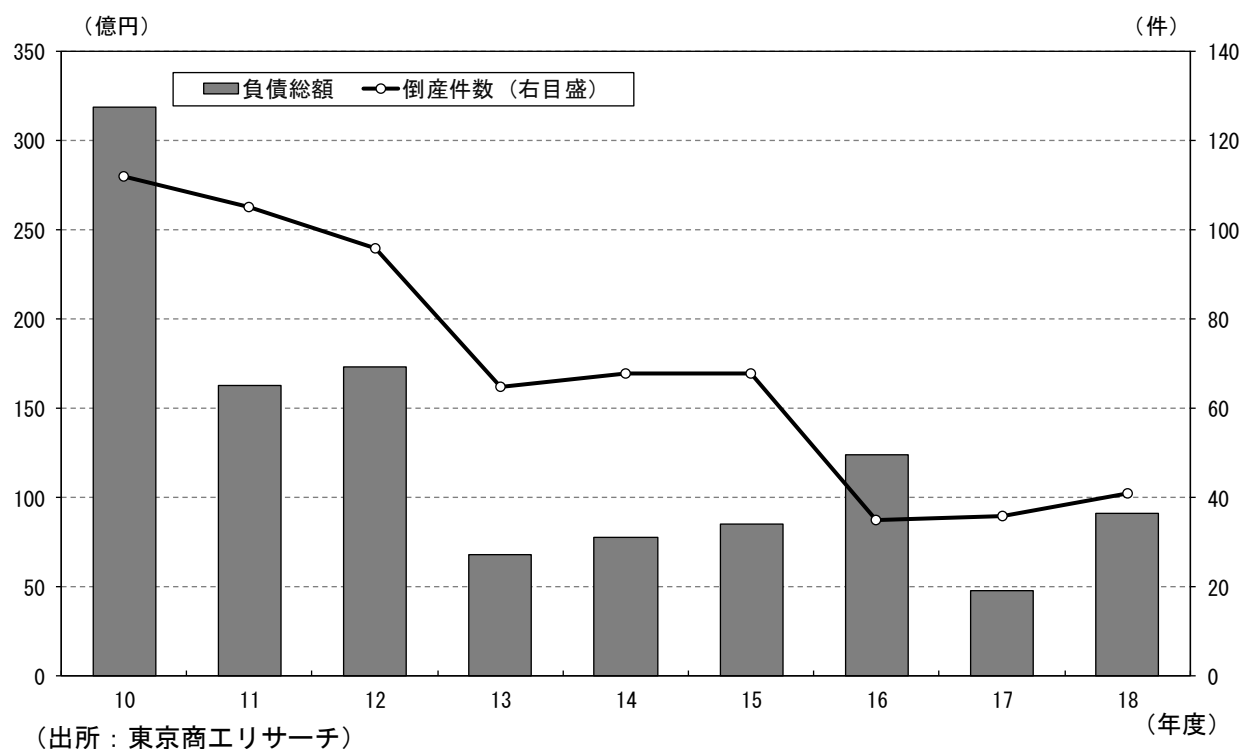
## 10. 企業倒産

1月の企業倒産（負債金額10百万円以上）は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

＜企業倒産（負債金額10百万円以上）＞



＜企業倒産（負債金額10百万円以上、年度ベース）＞



(出所：東京商工リサーチ)

以上